

1-1 憲法とわたしたちの暮らし すべての人が幸せに生きるために

P18~P19

6年

組

番

名前

①【ねらい】 基本的人権の尊重について考える。

②【基本】 資料ア「日本国憲法に定められている国民の権利と義務」(P18)を見よう。

- ・題を読もう。
- ・国民の権利を指でかこもう。国民の義務を指でかこもう。
- ・どういった権利と義務か、それぞれ読んでみよう。

③【ポイント】 国民の権利について、絵から選んで簡単に説明してみよう。

(例) 法のもとの平等…男子も女子も平等であること。

(予想される主な反応)

- ・住居・移転，職業を選ぶ自由…自由に住んだり，引っ越したりすることができる
仕事を自由を選ぶことができる
- ・政治に参加する権利…選挙に参加して，代表者を選ぶことができる
- ・信教・学問・思想の自由…自分が信じる宗教を選ぶことができる，好きな学問を学ぶことができる
- ・健康で文化的な生活を送る権利…人間らしい生活を送ることができる
- ・働く権利…さまざまな機会に働くことができる
- ・裁判を受ける権利…争いごとがあったときに裁判所に訴えることができる
- ・団結する権利…働く条件について団結して申し出ることができる
- ・言論・出版の自由…自由に自分の考えを言うことができる
- ・教育を受ける権利…学校や社会において教育を受けることができる

❗ ④このような権利は日本国憲法のどのような考えに基づいているのでしょうか。

❗ ⑤もし，このような権利がなくなったらどのようなことが起きるのでしょうか。

⑥国民の義務には何がありますか。なぜ必要なのでしょうか。

・税金を納める義務 ・働く義務 ・子どもに教育を受けさせる義務

・よりよい社会を築くため

⑦ノートに次の2点についてまとめよう。

- ・日本国憲法の基本的人権の尊重についてわかったこと
- ・考えたこと